

心温まる美しい弦の音色と清らかなソプラノの歌声。 ロシア随一の芸術の都、サンクトペテルブルグで活躍する 室内合奏団によるクリスマスコンサート。

表現力豊かで息の合った弦楽器と清らかなソプラノの歌声。音楽の魅力を改めて感じさせ、心を満たしてくれるメロディーの数々。ロシアだけでなく、世界各地で活躍する優秀なアーティストを集めたサンクトペテルブルグ室内合奏団が、今年もクリスマスにぴったりの名曲を届けにやって来る。

この合奏団が初めて日本にやってきたのは、2000年のクリスマス。以来このステージを見なければクリスマスを迎えられないという多くのファンの期待に応え、今年で18年連続となる来日コンサート。豊かな音色でしっとりと聴かせながらも心地よいテンポで進む音楽、そして何ととってもピアノシモの素晴らしさ。コンサートマスターでありヴァイオリンの名手、イリヤ・ヨーフのパフォーマンスも見どころの一つで、「タイスの瞑想

曲]、「四季」より「冬」ではソロヴァイオリンを美しく響かせる。

基本編成は弦楽合奏(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)。曲目によりそれらに、ソプラノやハープが加わりさらに彩りを添える。ソプラノが歌うJ.S.バッハ、シューベルト、カッチーニの偉大な3人の作曲家によって作られた「アヴェ・マリア」では、弦楽器と調和し、豊かに響き渡る歌声に改めて心を奪われる。長きにわたり多くの人に愛されてきたこれらの曲に演奏家たちが息を吹き込み、聖母マリアの優しさを感じられる至福の「アヴェ・マリア」を堪能できるだろう。

これら名曲の数々を最高の演奏で聴かせてくれる特別なコンサート。クラシックで楽しむクリスマスは格別な思い出になるだろう。

サンクトペテルブルグ室内合奏団

St. Petersburg Chamber Ensemble Divertissement

芸術の都サンクトペテルブルグで結成された室内合奏団。次代を担う才気あふれる若手演奏家を中心に、その活動は多岐に渡っている。メンバーはクラシック、ジャズなど多彩なジャンルをレパートリーに持ち、他の楽団や歌手と様々な共演を行っている。同合奏団も古典音楽を中心に、映画音楽など幅広い音楽を演奏し、評論家からも好評を得ている。



マリーナ・トレグボヴィッチ (ソプラノ)

Marina Tregubovich



ミハイロフスキー歌劇場ソリスト。リムスキー=コルサコフ記念サンクトペテルブルグ国立高等音楽院卒業。主なレパートリーは、プッチーニ「トスカ」のトスカ、「オテロ」のデズデモナ、ヴェルディ「リゴレット」のチェブラーノ伯爵夫人、「レクイエム」のソリストなど、数多くのオペラ作品で主役を歌う。ロシアでの活躍のほか、ドイツ、日本公演にも参加。オペラ作品に加え、宗教曲や交響曲などにもソリストとして出演するなど広く活躍している。

ナタリア・マカロワ (ソプラノ)

Natalia Makarova



1986年、ミンスク生まれ。1992年、中央音楽学校へ入学しピアノを学ぶ。卒業後、声楽専攻としてミンスクのグリーンカ音楽学校へ進学、在学中に数多くの国立声楽コンクールにて最優秀賞を受賞。

2007年、サンクトペテルブルグ音楽院に進学し、タチアーナ・ノヴィコワ氏に師事。2012年の修了公演においては、チャイコフスキー作曲『エフゲニー・オネーギン』より、タチアーナ役を演じ大好評を博した。

ご注意とお願い

●未就学児童のご入場はご遠慮ください。 ●会場内におけるご飲食、ご喫煙はご遠慮ください。 ●写真撮影、録音、録音等は一切禁止させていただきます。
●開演後のご入場は制限させていただきます。 ●開場時間は各開演時間の30分前です。 ●都合により出演者・曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。